

事業報告書

令和2年度

(第9期事業年度)

自：令和2年4月 1日
至：令和3年3月31日

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター

1 法人に関する基礎的な情報

① 目的

地方独立行政法人三重県立総合医療センターは、地方独立行政法人法に基づき、三重県の医療施策として求められる高度医療、特殊医療、救急医療等を提供し、並びに医療従事者の研修等の業務を行うことにより、県民の健康の確保及び県内の医療水準の向上に寄与することを目的とする。

② 業務内容

当法人は、地方独立行政法人三重県立総合医療センター定款第1条に規定する目的を達成するため、以下の業務を行います。

- (1) 医療を提供すること。
- (2) 非常時における医療救護等を行うこと。
- (3) 医療に関する地域への支援を行うこと。
- (4) 医療に関する教育及び研修を行うこと。
- (5) 医療に関する調査及び研究を行うこと。
- (6) 前各号に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。

③ 基本理念

- 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより県の医療水準の向上に貢献します
- 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します

④ 基本方針

- 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します
- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます
- 5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います

⑤ 設立年月日

平成24年4月1日

⑥ 所在地

三重県四日市市大字日永5450番地132

⑦ 資本金の額

1,099,272,714円

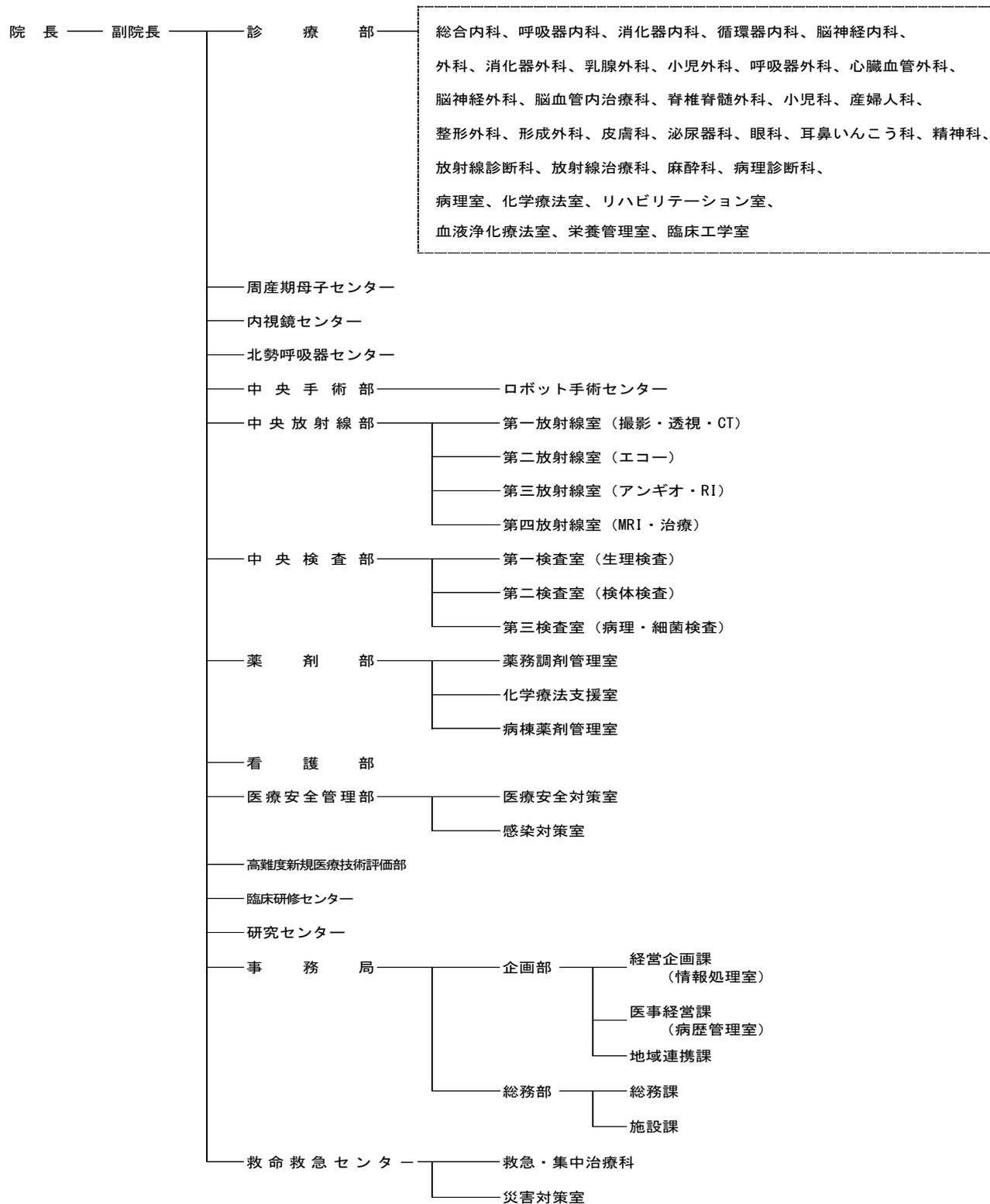
⑧ 役員の氏名、役職及び任期(令和2年8月5日現在)

職名	氏名	任期
理事長	新保 秀人	R2.4.1~R3.3.31
副理事長	白木 克哉	R2.4.1~R3.3.31
理事	牧野 克俊	R2.4.1~R3.3.31
理事	古橋 一壽	R2.4.1~R3.3.31
理事	川島 いづみ	R2.4.1~R3.3.31
理事	荻須 理	R2.4.1~R3.3.31
理事	中尾 浩一	R2.4.1~R3.3.31
監事	内山 隆夫	R2.8.5~R2年度の 財務諸表承認日
監事	板垣 謙太郎	R2.4.1~R2度の 財務諸表承認日

⑨ 常勤職員の数及び前事業年度末からの増減数並びに法人への出向者数

常勤職員は令和2年4月1日において724人（前事業年度末比27人増加、3.9%増）となっています。このうち、県からの出向者は16人です。

⑩ 組織図(令和3年3月31日現在)



2 財務諸表の要約

(1) 要約した財務諸表

① 貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部	金 額	負 債 の 部	金 額
固定資産	8,098	固定負債	6,940
有形固定資産	7,509	長期借入金	1,418
無形固定資産	59	移行前地方債償還債務	1,553
投資その他の資産	530	引当金	3,691
		その他	278
流動資産	5,837		
現金及び預金	2,387	流動負債	2,663
有価証券	1,000	1年以内返済予定長期借入金	464
医業未収金	1,818	1年以内返済予定移行前地方債償還債務	710
その他未収金	499	未払金	1,010
棚卸資産	133	未払費用等	62
		預り金	59
		引当金	358
		負債合計	9,603
		純 資 産 の 部	金 額
		資本金	1,099
		資本剰余金	2,706
		利益剰余金	527
		純資産合計	4,332
資産合計	13,935	負債純資産合計	13,935

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

② 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益 (A)	12,716
診療業務収益	9,757
運営費負担金収益	1,716
その他経常収益	1,243
経常費用 (B)	12,629
診療業務費	11,491
一般管理費	547
その他経常経費	591
臨時損益 (C)	138
当期純利益 (A-B+C)	-51

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

③ キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー (A)	116
診療業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,228
運営費負担金収入	1,061
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー	405
利息の受払額	△ 122
II 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	899
III 財務活動によるキャッシュ・フロー (C)	△ 626
IV 資金増加額 (又は△減少額) (D=A+B+C)	389
V 資金期首残高 (E)	998
VI 資金期末残高 (F=D+E)	1,387

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

④ 行政サービス実施コスト計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
I 業務費用	2,910
損益計算書上の費用	12,767
(控除) 自己収入等	△ 9,857
(その他の行政サービス実施コスト)	
II 引当外退職給付増加見積額	11
III 機会費用	4
IV 行政サービス実施コスト	2,925

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

(2)財務諸表の科目の説明(主なもの)

① 貸借対照表

固定資産

有形固定資産：土地、建物、医療用器械備品など
無形固定資産：ソフトウェア、電話加入権など
投資その他資産：投資有価証券、長期前払費用など

流動資産

現金及び預金：現金、預金
医業未収金：医業収益に対する未収金
棚卸資産：医薬品、診療材料

固定負債

長期借入金：最終の返済期限が1年を超えて到来する銀行借入金
移行前地方債償還債務：最終の返済期限が1年を超えて到来する財政融資資金など
引当金
（退職給付引当金）：将来支払われる退職給付に備えて設定される引当金
（診療報酬自主返還引当金）：診療報酬の自主返還に備えて設定される引当金
その他：資産除去債務など

流動負債

一年以内返済予定長期借入金：1年以内に返済期限が到来する銀行借入金
移行前地方債償還債務：1年以内に返済期限が到来する財政融資資金など
未払金：未払債務
未払費用等：支払時期が到来していない未払債務
預り金：一時的に預った金銭
引当金
（賞与引当金）：支給対象期間に基づき定期的に支給する職員賞与に備えて設定される引当金

純試算

資本金：県による出資金
資本剰余金：資本助成として県から受入れた運営費負担金などの累計額
利益剰余金：業務に関連して発生した剰余金

② 損益計算書

診療業務収益	： 医業（入院診療、外来診療、医療相談等）にかかる収益、診療業務にかかる補助金など
運営費負担金収益	： 医業及び借入金償還などにかかる県負担金
その他経常収益	： 営業外雑収益など
診療業務費	： 医業（入院診療、外来診療、医療相談等）に要する給与費、材料費、委託費、設備関係費（減価償却費を含む）など
一般管理費	： 一般管理部門にかかる給与費、経費（減価償却費を含む）など
その他経常費用	： 長期借入金、移行前地方債償還債務にかかる支払利息、看護師修学資金貸与費など
医業未収金	： 医業収益に対する未収金
棚卸資産	： 医薬品、診療材料

③ **キャッシュ・フロー計算書**

業務活動によるキャッシュ・フロー：

通常の実務の実施にかかる資金の状態を表す

診療業務活動によるキャッシュ・フロー：

医業にかかる収入、医業を行うための人件費、医薬品等の材料費購入による支出など

運営費負担金収入　：医業にかかる県負担金

その他の業務活動によるキャッシュ・フロー：

その他の業務活動による収入、一般管理部門の人件費支出など

投資活動によるキャッシュ・フロー：

有価証券の購入による支出、借入金償還にかかる県負担金、固定資産の取得による支出など

財務活動によるキャッシュ・フロー：

長期借入金の借入による収入及び返済による支出、移行前地方債償還債務の償還による支出

④ **行政サービス実施コスト計算書**

業務費用　：損益計算書に計上される費用から国又は県からの財源によらない自己収入を控除したもの

機会費用　：設立団体（県）から出資を受けることや、国又は県から低利な融資を受けることによって発生する費用

3 財務情報

(1) 財務諸表に記載された事項の概要

① 経常収益、経常費用、当期総損益、資産、負債、キャッシュ・フローなどの主要な財務データの状況

(経常収益)

令和2年度の経常収益は12,716百万円となり、対前年度比543百万円増(4.5%増)となっています。これは、その他経常収益(補助金)が対前年度比1,085百万円増(686.7%増)となったことが主な要因です。

(経常費用)

令和2年度の経常費用は12,629百万円となり、対前年度比141百万円増(1.1%増)となっています。これは、診療業務費が対前年度比153百万円増(1.3%増)となったことが主な要因です。

(当期総損益)

経常損利益は87百万円となり、対前年度比402百万円増(127.6%増)、当期総損失は51百万円となり、対前年度比264百万円減(83.8%減)となっています。

(資産)

令和2年度末現在の資産合計は13,935百万円となり、対前年度比72百万円減(5.1%減)となっています。これは、固定資産が対前年度比166百万円減(2.0%減)となったことに対して流動資産が対前年度比94百万円増(1.6%増)となったことが主な要因です。

(負債)

令和2年度末現在の負債合計は9,603百万円となり、対前年度比21百万円減(0.2%減)となっています。これは、固定負債が対前年度比261百万円減(3.6%減)となったことに対して流動負債が対前年度比240百万円増(9.9%増)となったことが主な要因です。

(業務活動によるキャッシュ・フロー)

令和2年度の業務活動によるキャッシュ・フローは116百万円となり、対前年度比176百万円増(293.3%増)となっています。これは、補助金による収入が増加したことが主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

令和2年度の投資活動によるキャッシュ・フローは899百万円となり、対前年度比819百万円増(1023.8.0%増)となっています。これは、有価証券の償還収入1,500百万円及び運営費負担金による収入655百万円が主な増加要因であり、定期預金の預入500百万円及び有形固定資産の購入756百万円が主な減少要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

令和2年度の財務活動によるキャッシュ・フローは△626百万円となり、対前年度比68百万円増(9.8%増)となっています。これは、長期借入金による収入が増加したことが主な要因です。

主要な財務データの経年比較

(単位：百万円)

区 分	令和元年度	令和2年度
経常収益	12,173	12,716
経常費用	12,488	12,629
当期純利益〔又は(△)損失〕	△ 315	△ 51
資産	14,007	13,935
負債	9,624	9,603
利益剰余金〔又は(△)繰越欠損金〕	578	527
業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 60	116
投資活動によるキャッシュ・フロー	80	899
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 694	△ 626
資金期末残高	3,998	1,387

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計とは一致しないものがあります。

② セグメント事業損益・総資産の経年比較・分析

(区分経理によるセグメント情報)

事業損益の経年比較

(単位：百万円)

区 分	令和元年度	令和2年度
診療業務事業	△ 1,050	△ 1,734
一般管理部門	△ 559	△ 547
合 計	△ 1,609	△ 2,281

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計とは一致しないものがあります。

総資産の経年比較

(単位：百万円)

区 分	令和元年度	令和2年度
診療業務事業	13,307	13,238
一般管理部門	700	697
合 計	14,007	13,935

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計とは一致しないものがあります。

③ 行政サービス実施コスト計算書の経年比較・分析

令和元年度の行政サービス実施コストは2,104百万円となっています。

行政サービス実施コストの経年比較

(単位：百万円)

区 分	令和元年度	令和2年度
業務費用	2,090	2,910
うち損益計算上の費用	12,488	12,767
うち自己収入	△ 10,398	△ 9,857
引当外退給付増加見積額	13	11
機会費用	1	4
行政サービス実施コスト	2,104	2,925

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計とは一致しないものがあります。

(2)重要な施設等の整備等の状況(主なもの)

① 当事業年度中に整備が完了した主要施設等

アンギオ装置	138,100千円
CT装置	154,000千円

② 当事業年度において整備中の主要施設等の新設・拡充

該当なし

③ 当事業年度中に処分した主要施設等

該当なし

(3)予算及び決算の概要

(単位：百万円)

区 分	令和元年度		令和2年度	
	予算	決算	予算	決算
収 入				
長期借入金等	411	411	503	490
業務収入	12,551	11,972	12,176	12,553
その他収入	181	200	160	163
計	13,143	12,583	12,839	13,206
支 出				
業務経費	11,505	11,897	11,849	12,038
診療業務経費	11,002	11,338	11,261	11,491
その他の経費	503	559	588	547
施設整備費	470	441	547	646
借入金償還	1,105	1,105	1,116	1,116
支払利息	153	153	125	124
その他支出	159	538	16	467
計	13,392	14,134	13,653	14,391

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは一致しないものがあります。

(4)経常収支等に関する目標及びその達成状況

当法人は、医業収益の確保と効率的な業務運営に努め、人件費比率、材料費比率等の適正化に取り組み、収支改善を図り、経常収支比率100%以上の達成を目指していたところ、令和2年度決算においては、医業収益が約531百万円減少したが、新型コロナウイルス関係補助金により、その他営業収益が1,093百万円増加したこと等により経常収支比率は100.7%（令和元年度は97.5%）となり、目標を達成できました。

4 事業に関する説明

(1)財源の内訳

① 内訳(運営費負担金、借入金等)

当法人の経常収益は、12,716百万円で、その内訳は、診療報酬等の自己収入10,919百万円(収益の85.9%)、運営費負担金収入1,716百万円(収益の13.5%)、その他収入80百万円(収益の0.6%)となります。

② 自己収入の明細(自己収入の概要、収入先等)

当法人では、医療サービスを提供することにより10,919百万円の自己収入を得ています。この自己収入は診療報酬等の診療業務収益9,757百万円、その他1,162百万円となっています。

(2)財務情報及び業務の実績に基づく説明

当法人は、三重県の医療施策として求められる高度医療、特殊医療、救急医療等を提供し、並びに医療従事者の研修等の業務を行うことにより、県民の健康の確保及び県内の医療水準の向上に寄与することを目的としています。

財源は、診療業務収入9,757百万円、運営費負担金収入1,716百万円等となっています。

費用は、診療業務費11,491百万円等となっています。

5 その他事業に関する事項

特記事項なし